

平成23年度（第55回）  
岩手県教育研究発表会資料

道徳/特別活動

## 中学校の学級活動における 長期ビジョンに立った指導を支援する指導資料の作成

平成24年2月14日  
岩手県立総合教育センター  
長期研修生  
所属校 二戸市立福岡中学校  
小田島篤史

## 目 次

I	研究目的	1
II	研究の方向性	1
III	研究の内容と方法	1
1	内容と方法	1
2	指導実践の対象	1
IV	研究結果の分析と考察	1
1	中学校の学級活動における長期ビジョンに立った指導を支援する指導資料の作成 についての基本構想	1
(1)	今求められている学級活動	1
(2)	中学校の学級活動における長期ビジョンに立った指導とは	2
(3)	中学校の学級活動における長期ビジョンに立った指導を支援する指導資料作成 の意義	2
2	中学校の学級活動における長期ビジョンに立った指導を支援する指導資料について	2
(1)	指導資料の作成にあたっての基本的な考え方	2
(2)	「学級ごとの学級活動年間指導計画作成と活用の手引」のポイント	3
(3)	中学校の学級活動における長期ビジョンに立った指導を支援する指導資料の作成 に関わる基本構想図	5
3	研究内容の実践と、指導資料の修正・改善の視点を明らかにするための指導実践	5
(1)	研究内容に基づいた授業計画の立案	6
(2)	指導計画に基づいた指導実践	6
(3)	指導計画立案と指導実践の分析と考察	8
(4)	指導資料の修正・改善の視点	8
4	指導資料の改善・修正	8
(1)	学級ごとの学級活動年間指導計画の様式の変更	9
(2)	内容項目の関連・統合の例示	9
(3)	学期ごとの段階的な指導の例示	9
(4)	学期の成果と課題を振り返るための視点の例示	9
V	研究のまとめ	
1	研究の成果	10
2	研究の課題	10

<おわりに>

【引用文献】

【参考文献】

【参考Webページ】

## I 研究目的

既に先行実施されている学習指導要領において特別活動では、全体目標を受けて、各活動・学校行事の目標が示されている。中でも学級活動については、生徒の学校生活における学習や生活の基盤である学級を単位として展開される活動であることから、一層の充実が期待されている。また、三つの内容から構成された活動内容において、いずれの学年においても取り扱うこととされている17項目については、指導内容の重点化を図ることや、生徒の実態や取り上げる題材に応じて内容間の関連や統合を図ることなどに留意し、計画的な指導に生かすことが求められている。

そこで、実際の指導にあたる学級担任に対して、各学年の年間指導計画に基づきながらも、学級・学年経営との関連も考慮した学級ごとの年間指導計画を作成したり、生徒の実態や取り上げる題材に応じて内容項目間の関連や統合を図った指導をしたりするための手順やポイントを示した指導資料を提示する必要がある。

よってこの研究は、中学校の学級活動における、長期的な指導の見通しをもつことができる学級ごとの年間指導計画の作成と、内容項目間の関連と統合を明確にした指導の手順やポイントを示した指導資料を作成し提示することにより、学級活動の指導を支援しようとするものである。

## II 研究の方向性

学級担任が学級活動の年間指導計画を作成し、年間の長期ビジョンに立った指導を行っていくための手順と方法を明らかにし、「学級ごとの学級活動年間指導計画作成と活用の手引」として提示する。

## III 研究の内容と方法

### 1 内容と方法

- (1) 中学校の学級活動における長期ビジョンに立った指導を支援する指導資料の作成についての基本構想の立案（文献法）
- (2) 中学校の学級活動における長期ビジョンに立った指導を支援する指導資料の作成
- (3) 研究内容の実践と、指導資料の修正・改善の視点を明らかにするための授業実践（指導実践）
- (4) 指導資料の改善・修正
- (5) 研究のまとめ

### 2 指導実践の対象

二戸市立福岡中学校 第1学年（男子87名、女子79名、計166名）

## IV 研究結果の分析と考察

### 1 中学校の学級活動における長期ビジョンに立った指導を支援する指導資料の作成についての基本構想

#### (1) 今求められている学級活動

今求められている学級活動は、学習指導要領特別活動編第3章の3(6)で示されている通り、学級担任が目標を立て、自らの指導ビジョンの下に学級活動の指導計画を作成し、意図的・計画的に学級を育成する実践を行うことである。

学級ごとの年間指導計画は、学校として作成した各学年ごとの学級活動の年間指導計画に基づき、学級担任が学年・学級や生徒個々の実態及び課題などを考慮して作成する計画であり、生徒が作成する活動計画のよりどころとなるものである。また、学級活動が、生徒の学校生活における学習や生活の基盤である学級を単位として展開される活動であることから、学級経営や学年経営との関連を図って作成することが大切である。

（「学習指導要領解説－特別活動編－」 p. 50より引用）

学級担任は、学級の実態に応じた学級ごとの学級活動年間指導計画を作成することにより、

学年ごとの学級活動年間指導計画に示された指導のねらいを生かしつつ、きめ細かな計画を立案することができる。また、計画に基づいた学級担任の意図的な指導を展開することができる。

(2) 中学校の学級活動における長期ビジョンに立った指導とは

中学校の学級活動における長期ビジョンに立った指導とは、学級担任が自ら立案した学級活動年間指導計画を活用し、指導の改善を図りながら行う指導である。

具体的には、学級担任は、学級の実態に応じて学級活動を通して育てたい生徒像を目標として掲げ年間の指導計画を立案する。その際、段階的に学級を育成するために、学期ごとの指導の重点を明確にする。また、学期の反省を行い、次学期の指導計画を修正することにより、指導の改善を図るようにする。

(3) 中学校の学級活動における長期ビジョンに立った指導を支援する指導資料作成の意義

学級活動の指導の課題として、育てたい生徒像が明確でなく、学校行事の練習等に時間を費やすことが多く計画的・継続的な指導がなされないということがあげられる。そのような実態に対して、学級活動の指導の充実に資するため、学級担任が長期ビジョンに立った指導を効率的・効果的に行うことができるようその手順と方法を提示することには意義がある。

学級活動は、望ましい人間関係の形成や集団の一員としての資質の育成、さらには自己の将来を主体的に選択しようとする態度を育成するための大切な教育活動である。これらの資質や態度は、各学年において継続的な指導を行うことによって身に付けられるものである。指導にあたる学級担任は、学級活動で目指す生徒像を目標として掲げ、その実現のために年間の長期的な指導構想を立案し計画的に指導を行っていくことが必要である。

2 中学校の学級活動における長期ビジョンに立った指導を支援する指導資料について

(1) 指導資料の作成にあたっての基本的な考え方

ア 指導資料に盛り込む内容

今求められている学級活動の実現と、長期ビジョンに立った指導を支援するために、以下の【表1】に示す内容を盛り込む。

【表1】長期ビジョンに立った指導を支援する指導資料に盛り込む内容

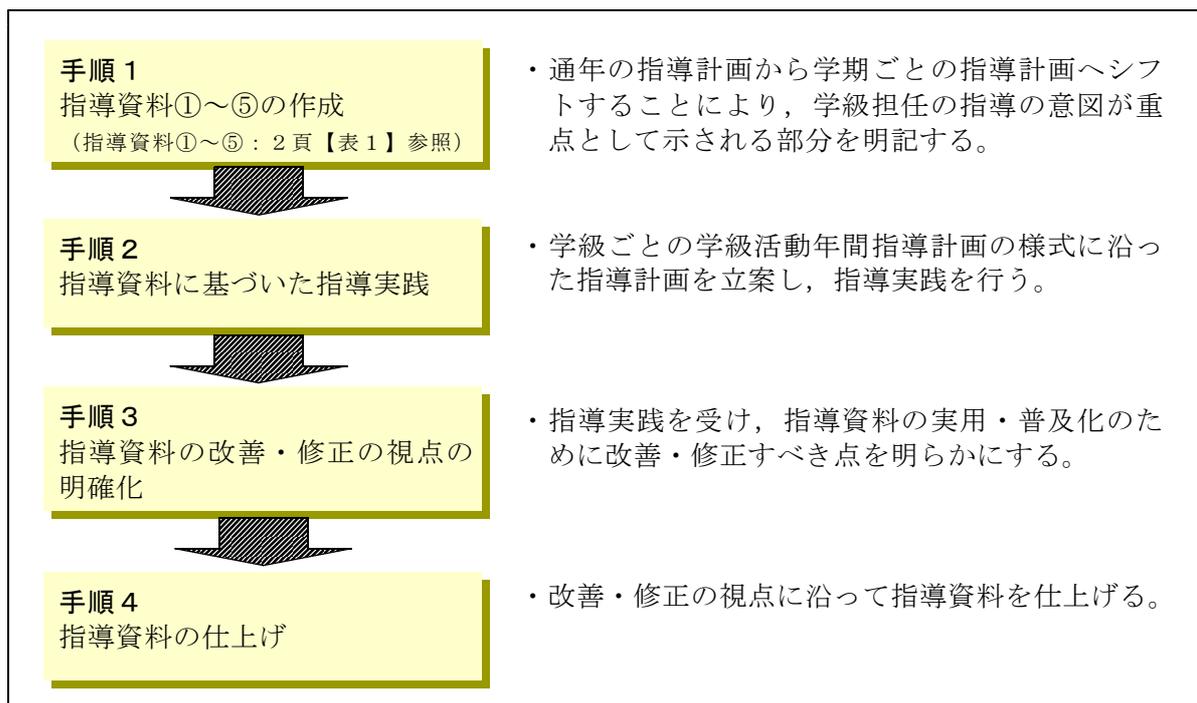
作成する資料	内容
①特別活動全体計画作成例	学校としての学級活動の教育的意義を明らかにし、さらに学年ごとの系統性を明示した特別活動全体計画作成例
②学年ごとの学級活動年間指導計画作成例	学年ごとの指導の重点及び、題材・活動ごとの指導のねらいに対応した内容項目の配置を例示した学級活動年間指導計画作成例
③学級ごとの学級活動年間指導計画の様式	学年ごとの学級活動年間指導計画の構成に基づき、学級担任が長期ビジョンに立った指導を計画立案できる学級ごとの学級活動年間指導計画の様式
④学級ごとの学級活動年間指導計画作成例	長期ビジョンに立った指導を構想した学級ごとの学級活動年間指導計画作成例
⑤学級活動指導案作成例	内容項目の関連や統合など、学級担任の意図的・計画的な指導構想を生かした一単位時間の活動指導案

イ 指導資料作成の手順

学校として作成する指導計画と学級担任が作成する指導計画との関連や、それぞれのもつ意義を明らかにし、以下3頁【図1】に示す手順で指導資料を作成する。完成した指導資料は、

「学級ごとの学級活動年間指導計画作成と活用の手引」と名付け、提示することとする。

【図1】指導資料（学級ごとの学級活動年間指導計画作成と活用の手引）の作成手順



(2) 「学級ごとの学級活動年間指導計画作成と活用の手引」のポイント

以下に、「学級ごとの学級活動年間指導計画作成と活用の手引」のポイントをア～エとして示す。

ア 学級活動の目標を設定するポイント

学級活動の目標の設定は、育てたい生徒像の達成のためにどのような指導方針で迫るのかを考える作業である。学級担任は、育てたい生徒像を明らかにし、学級の集団活動を通して身に付けさせたい力を目標として設定する。

その際には、学校として打ち出した各学年の指導の系統性に沿って生徒の三年間の育成をイメージし、指導にあたる一年間がどの地点にあたるのかを判断することが必要である。

イ 学期ごとの重点目標及び重点項目を設定するポイント

学期ごとの段階的な指導によって、学級活動の目標を達成させるための計画を構想する。重点目標は各学期に育てたい生徒像を、重点項目は重点目標を達成させるための指導内容を表す。

また、学級活動(1)～(3)の示す特性に沿って各学期の重点目標及び重点項目を示すことにより、学級活動の活動内容が具体化する【表2】。

【表2】活動内容の特性

活動内容	活動の特性
(1) 学級や学校の生活づくり	生徒が、自分たちの問題に気付き、よりよい学校生活を送るために、話し合いを通して集団決定する活動
(2) 適応と成長及び健康安全	集団や社会の形成者としての資質や望ましい生活習慣、自他を尊重する態度を選択・決定する活動
(3) 学業と進路	学ぶことや働くことについての意義を理解し、進学や職業人として生きることを主体的に考え、自己決定する活動

## ウ 内容項目の関連と統合のポイント

本研究では、学期ごとに設定した重点目標を意図的に指導へ結び付けるために、必要に応じて一単位時間に複数の内容項目を取り扱った指導計画例を提示する。

学習指導要領に示された学級活動(1)～(3)には合計17の内容項目が配置されている。学年の年間指導計画においては、どの学年でもすべての内容項目を取り扱うが、内容間の関連や統合を図って指導を工夫することも求められている。

内容項目の関連とは、題材・活動のねらいに照らし合わせ、学級の重点に関連した内容項目を設定することである。学年として指導すべき主項目を生かしながら、学級として取り扱いたい内容項目を設定する。

内容項目の統合とは、学級の重点目標を活動や題材のねらいと重ね合わせることにより、学級担任が設定した内容項目と、学年として指導すべき主項目を合わせ、一つの項目として扱うことである。

## エ 学期の反省と計画の修正のポイント

学級ごとの学級活動年間指導計画は、学級の実態や教師の指導の意図に応じて弾力的に運用されることにより、年度を通して活用される資料となる。

学期ごとに立案した指導の重点及びそれにもとづく実践を反省し、次学期へ向けて計画を修正することにより、指導の改善が図られる。その際には、3頁【表2】で示した学級活動(1)～(3)それぞれの特性に配慮した修正を行うことが必要である。

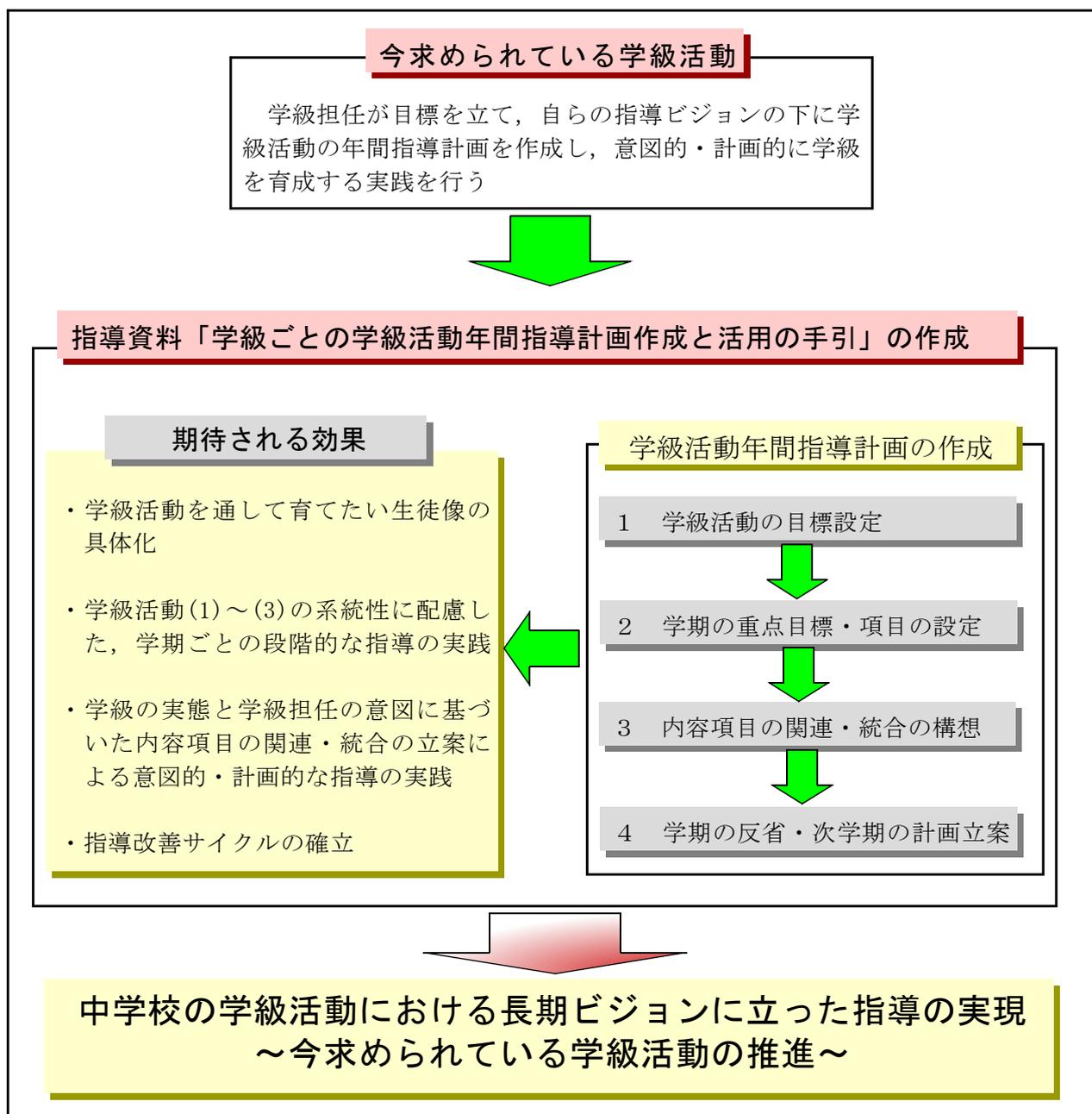
### 学習指導要領に示された学級活動の内容項目

- |                             |
|-----------------------------|
| (1) 学級や学校の生活づくり             |
| ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決       |
| イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理         |
| ウ 学校における多様な集団の生活の向上         |
| (2) 適応と成長及び健康安全             |
| ア 思春期の不安や悩みとその解決            |
| イ 自己及び他者の個性の理解と尊重           |
| ウ 社会の一員としての自覚と責任            |
| エ 男女相互の理解と協力                |
| オ 望ましい人間関係の確立               |
| カ ボランティア活動の意義の理解と参加         |
| キ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成     |
| ク 性的な発達への適応                 |
| ケ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食生活の形成 |
| (3) 学業と進路                   |
| ア 学ぶことと働くことの意義の理解           |
| イ 自主的な学主態度の形成と学校図書館の利用      |
| ウ 進路適性の吟味と進路情報の活用           |
| エ 望ましい勤労観・職業観の形成            |
| オ 主体的な進路の選択と将来設計            |

【中学校学習指導要領解説特別活動編 p.26より引用】

(3) 中学校の学級活動における長期ビジョンに立った指導を支援する指導資料の作成に関わる基本構想図

これまでに示した考え方にに基づき、【図2】のように、中学校の学級活動における長期ビジョンに立った指導を支援する指導資料の作成に関わる基本構想図を作成した。



【図2】中学校の学級活動における長期ビジョンに立った指導を支援する指導資料の作成に関わる基本構想図

3 研究内容の実践と、指導資料の修正・改善の視点を明らかにするための指導実践

指導資料の修正・改善の視点を明らかにするために、研究の基本構想に基づいて作成した「学級ごとの学級活動年間指導計画」を活用した指導実践を行った。

研究の基本構想に基づき、所属校（二戸市立福岡中学校第1学年5学級）の学級担任に、学級ごとの学級活動年間指導計画を立案・実践を行っていただいた。

ここでは、3頁【図1】に示した手順1「学級活動の目標設定」、手順2「学期の重点目標・項目の設定」、手順3「内容項目の関連・統合の構想」に基づいて作成した学級活動指導計画のうち、一単位時間の指導実践に関わる部分として、手順3に示された内容項目の関連と統合を取

り上げた。

(1) 基本構想に基づいた授業計画の立案

指導実践の対象となる一つの学級で計画された2学期の学級活動計画を【資料1】に示す。

「活動内容」の欄には、学年ごとの学級活動年間指導計画に示された内容項目を、「関連・統合」の欄には、担任が2学期の重点項目を指導の意図や学級の実態に応じて設定した内容項目を配置している。

【資料1】1年〇組2学期学級活動指導計画

1学年の重点項目：(1)ア, イ (2)キ, オ (3)ア 1年〇組2学期重点項目：(1)ア, イ (2)イ, オ, キ (3)ア							
月	題材・活動	活動内容			関連・統合		
		(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
8	夏休みの反省と2学期の目標			<u>ア</u>			
9	気持ちの通った友達関係		イ			オ	←(2)オを統合させている
	生徒会の発足	ウ					
	学級文化の創造		エ			イ	←(2)イを関連させている
	防災安全学習		<u>キ</u>			イ	←(2)イを関連させている
10	自己の特性を知る			オ			
	学級財産の確認	ウ				イ	←(2)イを関連させている
	後期学級組織決め	<u>イ</u>					
11	ボランティア活動の意義		カ				
	お互いのよさを見つける		<u>オ</u>			イ	←(2)イを関連させている
	生徒会活動への貢献		<u>イ</u>				
12	異性との協力と思いやり		ク			オ	←(2)オを関連させている
	2学期の反省		<u>ア</u>				
	有意義な冬休みの生活			<u>ア</u>			

※下線は学年の重点項目

(2) 指導資料に基づいた指導実践

3頁【図1】に示した手順2に基づき、指導実践を行った。

ア 指導実践の対象

二戸市立福岡中学校 第1学年(男子87名, 女子79名, 計166名)

イ 指導実践の期間

平成23年9月12日～10月12日

ウ 指導実践の概要

指導実践の概要を7頁【資料2】に示す。

エ 指導実践の分析と考察の視点

(ア) 指導資料に基づいた指導計画の立案が、学級担任の意図的・計画的な指導構想を反映できるものになっているか。

(イ) 指導資料に基づいた指導計画が、実際の指導に生かせるものになっているか。

【資料2】指導計画に基づいた指導実践の概要

題材・活動名 気持ちの通った友達関係

活動内容（主項目）

(2)イ 自己及び他者の個性の理解と尊重

活動内容（関連・統合）

(2)オ 望ましい人間関係の確立

さいころトークの活動によって、生徒同士が本音を語り合う



【指導のねらい】

日ごろ学級に対して思っていることを話し合うことによって、他者理解を促す。また、初めて活動を共にする級友との人間関係づくりを進める。

【研究の基本構想との関わり】

本学級の2学期学級活動の段階は、生徒の内面に迫り、お互いの気持ちをつないでいくことである。本活動で設定した(2)オは、相互理解を目的とした活動を通して、人間関係の形成を進めようとするものであり、内容項目の統合によって指導のねらいを果たそうとする指導計画が生かされている。

題材・活動名 学級文化の創造

活動内容（主項目）

(2)エ 男女相互の理解と協力

活動内容（関連・統合）

(2)イ 自己及び他者の個性の理解と尊重

合唱コンクールへ向けての生徒それぞれの決意をグループ内で交流し合う



【指導のねらい】

男女2名ずつのグループを編制し、男女の協力について考えさせる。また、自分自身の決意を述べ合い、前向きな雰囲気形成する。

【研究の基本構想との関わり】

合唱コンクールへ向け、男女の協力についての指導を果たそうとする活動である。男女混合のグループを組み、意図的に男女の交流を図りつつ、活動内容は生徒それぞれの決意を発表させるものである。内容項目の関連が図られた指導計画が生かされている。

題材・活動名：防災安全学習

活動内容（主項目）

(2)キ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成

活動内容（関連・統合）

(2)イ 自己及び他者の個性の理解と尊重

地震発生時の行動について6つの場面を想定し、安全な避難の方法について意見を述べ合う



【指導のねらい】

グループ内の活動を通して、お互いの知恵を出し合い、問題を解決させようとする態度を育てる。また、意見交流を通して他の考え方を理解する。

【研究の基本構想との関わり】

題材は、地震発生時の行動を考えさせる安全指導だが、生徒同士で緊急時の行動を考え意見交流させることにより、相互理解が果たされている。(2)イを関連させた指導計画が生かされている。

題材・活動名 学級財産の確認

活動内容（主項目）

(1)ウ 学校における多様な集団の生活の向上

活動内容（関連・統合）

(2)イ 自己及び他者の個性の理解と尊重

文化祭・合唱コンクールの努力を讃えるため、学級のMVPを選出する



【指導のねらい】

複数の部門からMVPを選出し、それぞれがどんな場面で活躍していたのかをお互いで発表し合うことにより、相互理解を深める。

【研究の基本構想との関わり】

行事の振り返りが題材となっているが、感想発表ではなく、生徒がお互いの努力を称え合う活動を行うことにより、(2)イを関連させた指導計画が生かされている。

### (3) 指導計画立案と指導実践の分析と考察

ア 指導資料に基づいた指導計画の立案が、学級担任の意図的・計画的な指導構想を反映できるものになっているか。

学級担任の先生方に、年間の長期ビジョンを想定した2学期学級活動指導計画を立案していただき、指導資料の課題を明らかにした。

2学期は文化祭や合唱コンクールのように、学級を単位として参加する行事があることから、望ましい人間関係の確立、他者理解、男女の協力といった、活動内容(2)の内容項目を関連・統合させる計画が多かった。これには、集団活動を通して個々の自己決定を促す活動内容(2)の趣旨を生かそうとする意図が感じられた。

行事へ向けての話合い活動では、活動内容(1)の、集団による意志決定が展開される活動を行うことも考えられる。今後提示する指導資料では、活動内容(1)～(3)の特性に留意させながら、より意図的な指導計画を立案できるよう配慮しなければならない。

また、2学期の指導計画を見ても、1学期の反省を踏まえた2学期の指導の方針や3学期までに到達していなければならないゴール像がイメージできなかつたため、現在行っている指導が、年間指導計画の上ではどの地点に位置するのかが把握しにくい様子が見られた。これは、シートが学期ごとに分かれていたために生じた問題である。指導計画の様式を改善する必要があると感じた。

イ 指導資料に基づいた指導計画が、実際の指導に生かせるものになっているか。

2学期指導計画のうち実際の指導に生かされていたのは、学級担任の意図によって複数の内容項目が明記される、関連・統合の部分であった。内容項目の設定によって指導方法や活動方法を工夫する様子が見られ、有効であると感じた。

課題はアで示したように、活動内容に偏りが生じたり、学期ごとの指導段階が意識されなために、本研究の基本構想である長期ビジョンに立った指導が指導者に伝わりにくいことである。

### (4) 指導資料の改善・修正の視点

指導実践の分析と考察から、指導資料の改善・修正の視点を以下のように設定した。

ア 学級担任にとって、作業のしやすい様式を作成する

イ 内容項目の関連・統合の指導に関する資料を示す

ウ 学期ごとの指導の段階を具体的に示す

エ 学期ごとの指導の反省、次学期計画の修正の視点を具体的に示す

## 4 指導資料の改善・修正

3の(4)に基づいて、指導資料の修正・改善を行った。

### (1) 学級ごとの学級活動年間指導計画の様式の変更

指導実践において提示した「学級ごとの学級活動年間指導計画」の様式は、学期ごとに独立した一枚ずつのシートになっていたため、学年ごとの様式と著しく構成が異なった。そのため学年の計画との関連が捉えにくく、作成に手間もかかった。よって、学年ごとの学級活動年間指導計画となるべく共通の様式になるよう9頁【資料3】のように修正した。

【資料3】学級ごとの学級活動年間指導計画の様式

1年〇組		特別活動の目標		望ましい集団活動を通して健全な生活習慣を確立し、集団の一員としての自覚と規律ある生活態度を育てる							
学級活動		学級活動の目標		学級活動を通して健全な生活習慣を確立し、互いに協力する態度と、集団生活の向上に資する個々の能力を育てる							
年間指導計画		学級活動の重点項目		(1)ア、イ (2)オ、キ (3)ア							
		1年〇組学級活動の目標									
1学期			2学期			3学期					
重点目標 ◎/項目	(1) 〇			重点目標 ◎/項目	(1) 〇			重点目標 ◎/項目	(1) 〇		
	(2) 〇				(2) 〇				(2) 〇		
(3) 〇			(3) 〇			(3) 〇					
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
課材・活動	活動内容	関連・統合	指導実践の記録	課材・活動	活動内容	関連・統合	指導実践の記録	課材・活動	活動内容	関連・統合	指導実践の記録
1 中学生になって	ア	(1)(2)(3)	学級活動(1)	8 15 夏休みの反省と2学期の目標	ウ	イ	学級活動(1)	29 冬休みの反省と3学期の目標	ウ	イ	学級活動(1)
2 中学校の生活と約束	ウ			16 既持ちの通った友達関係	イ			30 将来の生き方と進路計画	ウ		
4 3 学級目標づくり	イ			17 衛生団体の発足	ウ			31 先輩への感謝の思い	ウ		
4 学級組織づくり	イ			18 学級文化の創造	エ			32 学習習慣の見直し	イ		
5 生徒会活動への参画	ウ			19 防災安全学習	主			33 1年間の反省	イ		
6 学級一丸となって	エ		学級活動(2)	20 自己の特性を知る	ウ	オ	学級活動(2)	34 春休みの過ごし方	エ		学級活動(2)
7 学級の成長をたしかめる	エ			21 学級制度の確認	ウ			35 学級解散式	オ		
8 主体的な学習態度	イ			22 後期学級組織決め	イ						
9 野外活動教室へ向けて	オ			23 ボランティア活動の意義	カ						
10 防災安全教室	主		学級活動(3)	24 あ互いのよさを見つめる	オ		学級活動(3)				学級活動(3)
11 望ましい生活習慣	ケ			25 生徒会活動への貢献	イ						
12 1学期の反省	エ			26 真性と協力の思いやり	ウ						
13 夏休みの計画	オ			27 2学期の反省	エ						
14 保健指導	主			28 有意義な冬休みの生活	エ						
1学期の成果 〇/課題				2学期の成果 〇/課題				3学期の成果 〇/課題			
(1) 〇				(1) 〇				(1) 〇			
(2) 〇				(2) 〇				(2) 〇			
(3) 〇				(3) 〇				(3) 〇			

(2) 内容項目の関連・統合の例示

指導実践において、内容項目の関連と統合に関わる明確な手順を示していなかったために、学級担任の疑問を招いた。

また、複数の内容項目の設定は「必要に応じて」行われることや、学年としての関連・統合の指導計画があることを付記した資料を、【資料4】のように盛り込んだ。

(3) 学期ごとの段階的な指導の例示

指導実践では、2学期の指導計画のみ立てていただいたが、学期ごとの指導の段階について提示できなかった。よって、活動内容(1)~(3)について、学期ごとの段階を具体的に示す10頁【資料5】を追加した。

(4) 学期の成果と課題を振り返るための視点の例示

指導実践後に学期の指導を振り返り、成果と課題を明らかにするための視点を示す10頁【資料6】を追加した。

【資料4】内容項目の関連・統合を例示した資料

### 1. 内容項目の関連の方法

例

**1学年学級活動年間指導計画**

課材・活動	活動内容			課材・活動のねらい
	(1)	(2)	(3)	
中学校の生活と約束	ウ			学校内のきまりや約束をガイダンスによって周知させ、学校生活への適応を図る
(2)ウ 社会の一員としての自覚と責任				

課材・活動のねらいが、内容項目の設定理由となります。これを重点項目として指導します。

ガイダンス

**1年〇組学級活動年間指導計画**

1年A組1学期の重点目標

(2) 中学校生活への不安や悩みを解消し、学校生活への望ましい適応を図る

ア 思春期の不安や悩みとその解決

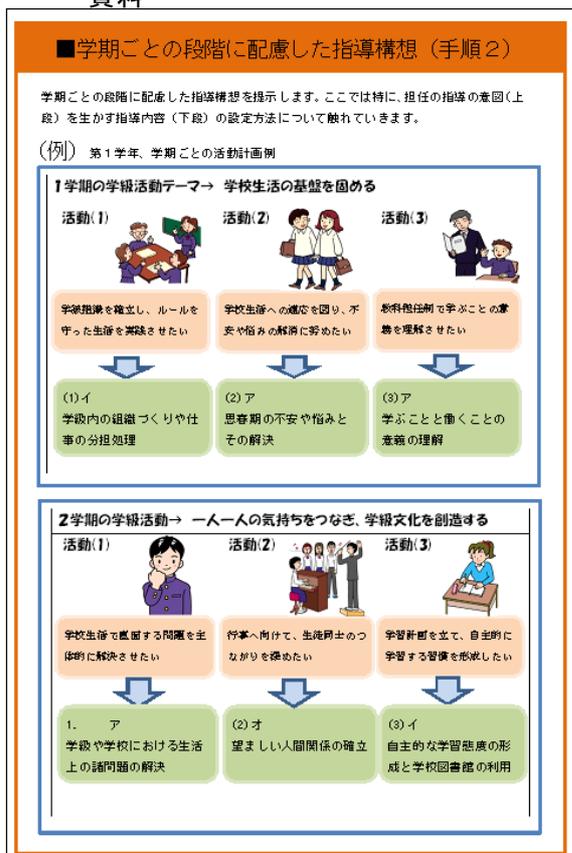
学級担任の指導の理由は、新1年生の中学校生活に対する疑問に回答し、望ましい適応を図ること。ここでは内容項目(2)アを関連させての指導を選択しています。

課材・活動	活動内容			関連・統合		
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
中学校の生活と約束	ウ				ア	

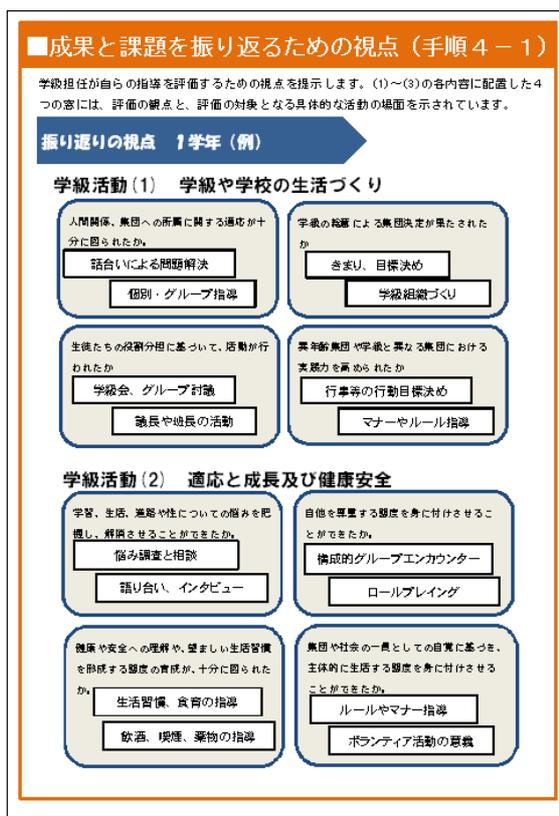
生活のきまり 異年齢集団の活動 教科担任制

関連

【資料5】学期ごとの段階的な指導を例示した資料



【資料6】学期の成果と課題を振り返るための視点を例示した資料



※資料3～6については、別冊資料「学級ごとの学級活動年間指導計画作成と活用の手引」を参照のこと

V 研究のまとめ

この研究の目的は、中学校の学級活動における長期ビジョンに立った指導を支援するため、学級担任へ提示する指導資料を作成することであった。以下に、研究の成果と課題を示す。

1 研究の成果

(1) 基本構想の立案

「中学校の学級活動における長期ビジョンに立った指導を支援する指導資料の作成」に関わる基本構想を立案したことにより、学習指導要領の改善点を指導資料の作成に盛り込むことができた。今求められている学級活動を実現するために、長期ビジョンに立った指導を行うことの意義を示し、指導資料の作成につなげていくことができた。

(2) 指導実践による、指導資料の修正の視点の明確化

作成した指導資料を指導実践に活用し、修正の視点を明確にすることができた。

(3) 指導資料の作成

「学級ごとの学級活動年間指導計画作成と活用の手引」を作成し、年間指導計画の様式及び、作成と活用の手順を示すことができた。

2 研究の課題

学級ごとの学級活動年間指導計画作成と活用の手引では、年間指導計画作成の手順や活用方法を例示しているが、実際の指導場面を想定した資料が不足している。

学級活動指導案や、指導実践に役立つワークシート、実践例等を付加するなどして、指導のイメージをより具体的にもてるような指導資料にしていく必要がある。

<おわりに>

長期研修の機会を与えてくださいました関係諸機関の各位並びに所属校の諸先生方と生徒のみなさんに心から感謝を申し上げ、結びの言葉といたします。

#### 【引用文献】

文部科学省（2008），『中学校学習指導要領解説（平成20年9月）解説－特別活動編－』，ぎょうせい，p.26，p.50

#### 【参考文献】

天笠茂（2008），『中学校新学習指導要領の展開』，明治図書

河村茂雄（2006），『集団を育てる学級づくり12ヶ月』，図書文化

桑原憲一・熊谷茂樹（2011），『中学校担任がしなければならない学級づくりの仕事12ヶ月1年，2年，3年』，明治図書

杉田洋（2009），『よいよい人間関係を築く特別活動』，図書文化

（2011），『特別活動で子どもが変わる！新しい評価と指導のモデル集』，小学館

堀裕嗣（2011），『中学校学級活動ワークシート』，学事出版

横浜市教育委員会（2009），『横浜版学習指導要領－特別活動編－』，ぎょうせい

#### 【参考Webページ】

高知県教育委員会東部教育事務所 特別活動全体計画・学級活動年間指導計画

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310304/download-tokubetukatudou.html>

埼玉県庁教育局義務教育指導課 平成22年度埼玉県中学校教育課程説明会資料

<http://www.pref.saitama.lg.jp/uploaded/attachment/405363.pdf>

佐賀県教育センター プロジェクト研究 小・中学校 特別活動 互いに認め合おうとする人間関係を形成し，自分に自信を持ち，自分の個性を生かすことのできる児童生徒の育成－学級活動(2)における話合い活動の工夫－

[http://www.saga-ed.jp/kenkyu/kenkyu\\_chousa/h22/07\\_tokkatu/index.html](http://www.saga-ed.jp/kenkyu/kenkyu_chousa/h22/07_tokkatu/index.html)

福島県教育センター 学校支援 生徒指導・教育相談 生きる力を育てる授業実践プログラム

<http://www.center.fks.ed.jp/19soudan/program.html>